

報道関係各位

日本各地の伝統美 国産にこだわった漆塗り万年筆シリーズ 第三弾！

『伝統漆芸 麗』

2022年12月24日(土) 発売

セーラー万年筆(社長：町克哉、本社：東京都港区)は、「伝統漆芸 麗 漆塗り万年筆」シリーズ第三弾として、日本各地の伝統美を活かした2種の漆塗り万年筆を2022年12月24日(土)より全国のセーラー万年筆製品取扱販売店にて発売いたします。

■伝統漆芸 麗

伝統漆芸 麗 は、「漆」を塗り上げ装飾する伝統漆芸を用いた筆記具のシリーズです。2019年6月、シリーズの第一弾として、「輪島 曙塗」、「輪島 溜塗」、「津軽錆塗」を発売しました。第二弾は2021年10月、「岩手 樹水塗」、「青森 流紋塗」、「石川 創作加賀塗」の3種を発売。そして第三弾は「福井 創作若狭塗」、「青森 八戸塗」を発売いたします。

●シリーズ名「麗(れい)」について

漆塗りの調度品(漆器)の価値は奈良・平安時代、貴族社会の富の象徴、神仏世界具現の麗美なものとして確立したとされています。漆の語源とも云われる「麗(うるわし)」は、この上もなく美しいものを意味する言葉で、日本の美の概念が芽生え栄えたその時代ゆえ「漆」に「うるわしさ」を与える言葉として漆に繋がっていったのは自然なことだともいえます。

日本の伝統の美しさや奥深さ、人に潤いと感動を与えるものとして、ペン軸始め付属の一本袋や桐箱に名高い真田紐と釣り、すべて国産を意識し、伝統漆芸「麗」シリーズと名付けました。

[福井 創作若狭塗]

創作若狭塗(マーブリング技法)は、若狭塗技法の特徴を継承しながら、数々の試行錯誤により生み出された独自の塗り技法です。若狭塗の伝統を紡ぎながら斬新な技法といえるものです。



●福井 若狭塗とは

若狭塗は、福井県小浜市に伝わる伝統漆芸です。若狭塗が生まれた小浜は、若狭湾に面しており、日本三景のひとつの天橋立や気比の松原など、多くの景勝地がある風光明媚な場所です。江戸時代初期、若狭湾を望む領地があった小浜藩の御用職人が、漆塗りに新たな創案として美しい海底を表したものが起源とされています。近年、若狭塗は、貝殻や卵殻だけではなく、松の葉などの自然の草木などで模様を作り、その上に漆を塗重ねて研ぐ、研ぎ出し技法も行なわれている、特徴ある変り塗です。

[青森 八戸塗]

八戸塗は、変わり塗りの特性の漆の重ね塗りに独自の研鑽を重ね、人の心象風景を表わすことに心を注ぎ、感性深い特殊な風合をもつ、優れた漆の芸術作品となっています。



●青森 八戸塗とは

日本の漆塗り産地は全国にあり、青森県では伝統工芸として有名な津軽塗があります。漆工芸は漆の性質上、熟練した漆塗り技術が必要です。現代では伝統的な漆塗りを学びながらも、創造性溢れる作品を創作している作家が増えています。作家活動をする漆芸家にも真摯な職人気質が求められる為、創作性が高い漆工芸品も品質が優れた漆芸となります。

八戸塗は、伝統ある津軽塗を数年修業し学んだ後、八戸在住の島守氏が八戸で漆を育て採取している方に感銘を受け、八戸を伝える意識が生まれ名乗りました。青森は、寒冷地のため漆の乾きが悪く、色の出も良くないことが多い性質を高めるため、漆重ね塗りに研鑽を重ねた津軽地方では、「研ぎ出し変わり塗り」という技法が生まれました。

創作漆芸作家

谷口 淳司 作 [たにくちあつし]

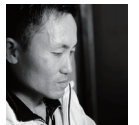
プロフィール

福井県立大学卒

2008年 日本一の箸の生産地、若狭小浜に移住し、伝統的な箸の技法を学びながら日々研鑽する。

2014年、新たな可能性を求め、創作工房たにくち(旬悟亭)を設立する。

伝統的でありながら日常使いの箸塗技法や伝統美術的技法など、箸塗りの技法の可能性を高め、感性豊かな創作的工芸品を造りだし伝統工芸品としても高評価を博している。



創作漆芸作家

島守 宏和 作 [しまもりひろかず]

プロフィール

青森県八戸市生。

大学にて工芸デザイン彫金科卒業

卒業制作展で優秀賞受賞

津軽塗技術研修所(青森県弘前市)卒業

津軽塗秀作展で優秀賞受賞

2011年 歴史ある伝統の可能性を求め、創造性と感性溢れる漆芸と彫金の融合した伝統工芸品の価値を高めるため、オリジナルブランド「LANDPROTECTO」を立ち上げる。

以後、オリジナル作品展、企画展、グループ展、クラフトフェアなど数多く出店し好評を博している。



21金 大型ペン先



万年筆は、しなやかな書き心地に定評のある21金大型ペン先、軸には硬く丈夫で高級家具や仏壇、楽器などに使われる銘木「黒檀」を使用しています。

一本袋



一本袋は、着物をほどこいた生地を裁断し、一つ一つ手作りで仕上げております。着物からとった上質な正絹の手ざわりは心地良く、すす竹から手作業で削り出して作った爪も相まって、万年筆の収納に適した仕上がりです。
※色、柄は一つ一つ異なります。

桐箱



桐箱は漆製品の保管に最も適した素材と言われており、木目が細かく高品質な国産桐を使用しております。結紐には千利休も茶道の道具箱に愛用したといわれる伸びにくく丈夫な真田紐を使用しております。

【製品スペック】

そうさくわかさぬり

品名：伝統漆芸 麗 福井 創作若狭塗万年筆

希望小売価格：165,000円（本体価格 150,000円）

ペン先：21金、中字、大型

蓋・胴：黒檀、福井創作若狭塗

大先：PMMA樹脂／ブラック

本体サイズ：φ17×151mm、33.7g

パッケージ：専用桐箱（156×201×49mm）

ほちのへぬり

品名：伝統漆芸 麗 青森 八戸塗万年筆

希望小売価格：165,000円（本体価格 150,000円）

ペン先：21金、中字、大型

蓋・胴：黒檀、青森八戸塗

大先：PMMA樹脂／ブラック

本体サイズ：φ17×151mm、34.9g

パッケージ：専用桐箱（156×201×49mm）

【セット内容】2種共通

万年筆本体、サービスカートリッジインク ブラック 2本、

専用一本袋（国産）、クリーニングクロス、万年筆使用説明書、専用商品説明書カード

【製品の取り扱いに関する問合せ先】

ユーザーサービス：0120-191-167（フリーダイヤル）

以上

《当りリリースに関する問合せ先》

開発本部：03-6670-6605 木村（kimura-a@bungu.sailor.co.jp）

不在時：開発本部 徳増（tokumasu-k@bungu.sailor.co.jp）

※画像のご依頼は、木村（kimura-a@bungu.sailor.co.jp）までお願いいたします。

※当資料は、東商記者クラブに投函しております。

会社概要：セーラー万年筆株式会社（代表取締役社長 町克哉）コード番号 7992 東証スタンダード

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 10 階

Tel: 03-6670-6601 URL: <https://www.sailor.co.jp>